

平成18年

# 消 防 概 況

市消防本部がまとめた平成18年の消防概況によると、前年と比べ、火災発生件数、救急出動件数ともに減少しました。

皆さんの大切な財産や命までも奪ってしまう火災や事故。普段の生活から、火災や事故には十分注意しましょう。

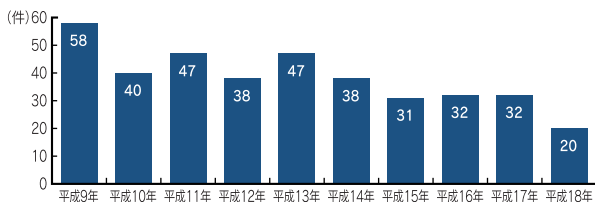
## 火災概況

### ●火災発生件数は12件の減少

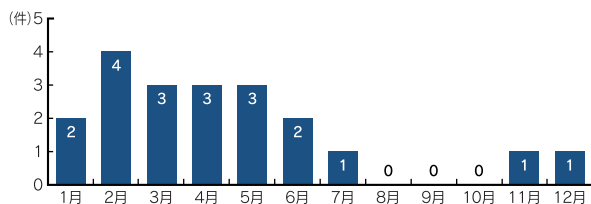
平成18年中の火災発生件数は20件で、平成17年と比べ、12件減少しました（グラフ1参照）。

2月には、4件の火災が発生しました（グラフ2参照）。

グラフ1 過去10年間の火災発生件数



グラフ2 月別火災発生件数



### ●最も多く発生した火災種別は建物火災

火災種別ごとでは、建物火災11件、車両火災2件、林野火災0件、その他火災（枯れ草など）が7件でした。

### ●死傷者…死者1人、負傷者1人

火災による死者は1人、負傷者は1人で、いずれも建物火災で発生しました。

### ●出火原因…電気系統の異常が最多

出火原因別では、電気系統の異常が3件、こんろ、たばこ、たき火がそれぞれ2件、その他が6件、不明・調査中が5件でした。

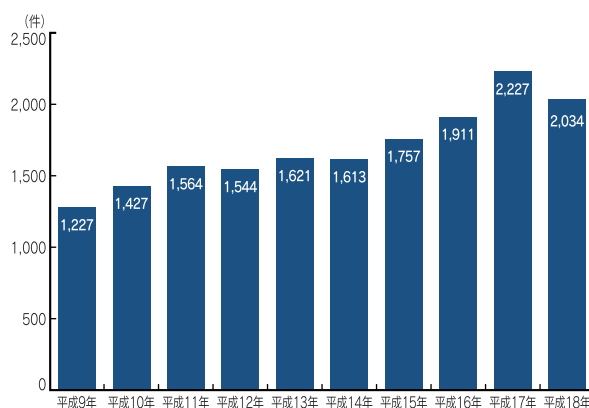
## 救急概況

### ●救急出動件数は193件の減少

平成18年中の救急出動件数は、2,034件でした。これは、1日平均約5.5件出動したことになります。平成17年と比べ、193件の減少でした。救急件数は、年々増加の傾向にあり、平成9年と比べ、807件の増加となっています（グラフ3参照）。

なお、搬送人員は、1,992人で、市民32人に1人の割合で救急搬送されたこととなります。

グラフ3 過去10年間の救急出動件数



### ●出動事由…急病が最多

救急事故種別の上位は、急病1,280件、交通事故243件、一般負傷237件でした。

## 春の全国火災予防運動 3月1日(木)～7日(水)

### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。